

2024年度

臨床倫理講習

身体拘束は患者の安全を確保する手段として行われますが、一方で患者の自由や人権を制約する行為でもあります。近年、社会や家族構造の多様化、医療の高度化・複雑化により、安全と人権に対する価値観の幅が広がり、身体拘束に関する議論の重要性が増しています。さらに今年度の診療報酬改定では、入院基本料の要件に「身体的拘束の最小化に向けた取り組み」が盛り込まれ、医療機関は身体拘束をめぐる倫理的課題への対応が一層求められる状況となっています。

本セミナーでは、身体拘束の分類、各国における定義や使用状況の違いを概観し、倫理的視点からの考察を行います。

特に、主要な倫理原則（自律尊重、無害原則、善行原則、正義原則）を踏まえ、実際のケースを取り上げながら、身体拘束が許容される条件や現場の対応について解説します。

参加者が現場での実践に役立つ知識を深められるよう、最新の知見も踏まえながら紹介し、身体拘束に関する課題を多角的な観点から学びます。



当院職員は、医師に限らずどなたでもご参加いただけます（共通講習単位を必要としない方は、事前申し込み不要です、当日会場まで直接お越しください）



本講習は、日本専門医機構から専門医共通講習に認定されています。専門医共通講習（医療倫理）として1単位が認定され、受講証明書を発行します（専門医共通講習希望者は、必ず事前申し込みをしてください）



院外からの受講は、事前申し込みをした医療従事者に限ります

2025年
2月27日(木)
17:30～18:30

会場:東大病院
入院棟B棟一階
会議室1

身体拘束の倫理 安全と自己決定権 のバランス

担当講師 新井奈々
(患者相談・臨床倫理センター所属
医師・臨床倫理コンサルタント)

【事前申し込み締め切り：2025年2月24日(月)】

院内からの専門医共通講習希望者および院外からの申込みは、
下記URLまたは右のQRコードからの事前申し込みが必要です

<https://forms.gle/UYwUENBBdserfrnr6>



お問合せ

東京大学医学部附属病院
患者相談・臨床倫理センター



03-3815-5411 (代表) 内線 32604
※電話は平日の9:00～17:00



kanjasodan-rinshorinri@adm.h.u-tokyo.ac.jp